

茨協ニュース

第90号

平成26年12月1日

一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会

明るい職場はコミュニケーションから
心にはゆとりを 体には余裕を



CONTENTS

目次

CONTENTS

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|
| ■ 平成26年度技術者研修会 …………… 2 | ■ 第43回関東甲信越地区例会（栃木例会） …………… 12 |
| ■ 平成26年度労働安全衛生大会 …………… 4 | ■ 理事会だより …………… 14 |
| ■ 労働安全衛生標語入賞作品の紹介 …………… 5 | ■ 各委員会だより …………… 14 |
| ■ 小学生清掃活動トレーニング事業 …………… 6 | ■ 平成27年 新春賀詞交歓会開催のお知らせ …………… 14 |
| ■ 平成26年度ビルクリーニング技能検定受検準備講習会 …………… 8 | ■ 茨城労働局から最低賃金改定のお知らせ …………… 15 |
| ■ 平成26年度シニアワークプログラム事業 …………… 8 | ■ 会員紹介ページ …………… 16 |
| ■ 平成26年度会員相互のコミュニケーション促進事業 …………… 9 | ■ 編集後記 …………… 18 |

平成26年度 技術者研修会を開催

◆設備保全委員会

当委員会の主要事業である「平成26年度技術者研修会」を、9月4日(木)午前10時から、茨城県総合福祉会館4階の中研修室にて、39名の参加をいただき、開催いたしました。

研修会は、植田副委員長の司会により進行し、鷹巣委員長の「開会のことば」に始まり、主催者として大山会長から挨拶の後、研修に入りました。

研修は、講師として ^{やなどり み ち お} 梁取美智雄先生(工学博士、技術士)をお迎えし、「現場で役立つ省エネ計測・省エネ技術」をメインテーマとして進めました。

まず、梁取先生から、「日本のエネルギー」、「改正 省エネ法」、「省エネの管理組織・記録・表示・管理標準の重要性など(PDCAサイクル)」、「省エネ量の計測の基本技術(電気の計測と熱の計測)」、「現場における実践的省エネ対策」の各講義を、昼食・休憩をささんで受けました。

その後、受講者は、5班に分かれて演習問題の計算に取り組みました。

問題は、班ごとに異なるものが用意され、そのどれもが現場で役立つ実践的なものであり、しかも高度な計算能力を要するものでした。

問題を解くことは、受講者が講義で得た計算の知識を試すことでもあり、皆さん真剣に休憩の時間も惜しんで、計算の作業を行いました。

計算の結果が出たところで、各班の代表者が結果の発表を行いました。

発表の都度、梁取先生からの的確なご助言をいただき、現場で生かせる大変有意義な研修会となりました。やはり班に分かれての作業によって、受講者参加型研修のメリットが、十分引き出せたような気がしています。

研修の締めくくりとして、鷹巣委員長から、受講者の皆様方の真剣な取り組みを讃える講評があり、続いて修了証の交付が行われました。

本研修会は、高野副委員長の「閉会のことば」で、盛会のうちに終了することができました。

梁取先生、ありがとうございました。受講者の皆様、大変お疲れ様でした。

来年度もよろしくお願いします。



技術者研修会に参加して

日興美装工業(株) 助川 和徳

9月4日(木)に開催された、平成26年度技術者研修会に参加しました。

17社から総勢39名の参加がありました。

今回の研修内容は、工学博士による「現場で役立つ省エネ計測・省エネ技術」で、我々が積極的に取り組んでいる事案であり、すぐに役立つ内容でした。

また、今回の特徴は、申込み時に参加者の担当業務、取得している資格及び現場での取り扱い機器などを問われ、さらに、テキストは100ページ以上で事前に各自でダウンロードしておくよう指示があったことから、期待と不安を抱きながら参加しました。

午前中は、日本のエネルギー、改正省エネ法、省エネの管理組織・記録・表示・管理基準の重要性など(PDCAサイクル)、省エネ量の計測の基本技術(電気の計測と熱の計測)についての講義がありました。

午後からは、申込み時に問われた、担当業務、資格及び取扱機器の情報を基に、事務局で班編成をした5つの班に

分かれ、演習問題の計算などを行いました。各班は8~10名で、基本的に全員異なる会社のメンバーで構成され、演習問題は、班ごとに異なる問題でした。

演習問題の開始と共に、各班において活発な意見が飛び交いはじめ、参加者の積極的な態度がうかがえました。

個人的に演習問題は難しかったのですが、ここで事務局による班編成の効果が発揮され、全員が理解することができました。それは、各班にその演習問題に合った有資格者が配置されており、その方がリーダーとなり不得意な方々に説明をしていただけたからです。

そして、各班の代表者による解答の発表及び講師の先生からの講評があり、全員に修了証が交付されました。

今回の技術者研修会はとても有意義であり、習得した知識などを今後の実務に生かし、省エネに取り組んで行きたいと思います。

大山会長以下協会役員の方々及び設備保全委員会の方々に感謝します。

平成26年度

「労働安全衛生大会」を開催

◆労働安全衛生委員会

10月20日（月）午後1時30分から、茨城県総合福祉会館 4 階の大研修室にて、「平成26年度労働安全衛生大会」を90名（非会員を含む）の参加の下、開催しました。

大会は、那花副委員長の司会により進行し、来栖副会長の「開会のことば」に始まり、主催者として大山会長のあいさつ、ご来賓として茨城労働局 労働基準部長 佐藤様のご挨拶をいただきました。

次に、池田委員長から、平成26年度労働安全衛生標語の入賞作品の選考結果報告があり、続いて、秋山副委員長から、入賞作品の発表がありました。



金、銀、銅の各賞の受賞者には、大山会長から表彰状と記念品が贈呈されました。



受賞した各作品は、大研修室のサブスクリーンに映写され、受賞者の栄誉を称えました。

次に、講演に移り、茨城県日立保健所長 荒木様を講師に迎え、「職場におけるコミュニケーションの促進」の講義を受けました。

隣席の人と実際に言葉のやりとりを行い、コミュニケーションの基本がストロークであることを学びました。改めて、人が人とうどう関わり、私達一人一人がどのような立場で、どのようなストレスを抱え、どのように向き合って行ったらよいのか学ぶことができ、大変参考になりました。

大会の締めくくりとして、池田労働安全衛生委員長から提案された大会宣言の案が、満場一致で採択され、出席者全員で大会宣言を唱和し、労働安全衛生に取り組む決意を新たにしました。

結びは、宮内副会長の「閉会のことば」で、今大会も盛会のうちに終了しました。



平成26年度

労働安全衛生大会 大会宣言

「私たちは、ゼロ災害の達成をめざし、相互の連携を図りながら、労働安全衛生の向上に不断の努力をしていくことを誓い、その決意をここに宣言します。」

平成26年度 労働安全衛生標語 入賞作品の紹介

■ 労働安全衛生委員会

労働安全衛生委員会では、今年度も労働安全衛生標語の募集を行いました（募集期間：7月11日～8月11日）。

今回の応募作品総数952作品の中から、選考会において厳正な審査を行い、下記のとおり、金・銀・銅の各賞及び佳作の計15点が決定しました。

入賞作品につきましては、「平成26年度 労働安全衛生大会」において発表、表彰を行うとともに、(公社)全国ビルメンテナンス協会の「第31回（平成26年度）労働安全衛生標語選考会」の対象作品として提出をしました。

会員各位におかれましては、多数のご応募をいただき、誠にありがとうございました。

一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会

平成26年度 労働安全衛生標語 入賞作品集

金賞

一人ひとりの心がけ つながれ広げられ安全職場

高橋興業(株)

田上 昌孝

銀賞

危険予知 気づいたときに すぐ改善 みんなでつくろうゼロ災職場

(株)裕生 つくば営業所

廣瀬 昌弘

健康は 日々の意識と自己管理

(株)アメニティ・ジャパン

田村 慎司

銅賞

研ぎ澄ませ 普段の違いを 目と耳で

テスコ(株) つくば支店

木村 貴弘

確かめよう 心のゆとりと 車間距離

テスコ(株) つくば支店

関根紀代子

快適職場 心と体の健康管理

(株)アビック

石川 陽介

佳作

ルール守れば無災害 職場で作る笑顔の和

総合建物サービス(株)

村田 敏夫

慣れと手抜きは 事故のもと 心引き締め 安全作業

(株)暁恒産

伊藤 敏子

「気をつけて」 ひとこと掛ける思いやり

東京美装興業(株) 茨城支店

山戸みちよ

決めたこと 守る勇気と続ける努力 みんなで築こう 安全職場

茨城ビル代行(株)

長山 卓也

急ぐな あせるな 慌てるな 確実動作で防ぐ事故

(株)ニッソウ

小野寺 剛

慣れた作業も油断せず 心ひきしめ安全確認

テスコ(株) つくば支店

渡辺 利幸

気をつけよう！ 危険がいつもひそんでる。 安全第一0災害

日本不動産管理(株) 茨城支社

吉村 勇一

ハッとした それはあなたのチェックミス

(株)全日茨城

小野 誠

時間がない、あせる気持ちに迫る事故

日本メックス(株) つくば営業所

太田 保夫

※ 漢字・かな使い等すべて原文のまま転載

(敬称略)

入賞作品（15点）については、今後一年間にわたり、本誌の各ページ下に掲載します。

当協会では、昨年度に引き続き、今年度も公益社団法人全国ビルメンテナンス協会から「東日本大震災に係る平成26年度社会貢献事業助成実施要領」に基づく助成を受け、「平成26年度小学生清掃活動トレーニング事業」実施し、先般、大きな成果をあげて終了することができました。

この事業は、小学生が適切な清掃の技能と衛生的な環境の大切さを理解するための一助として実施したもので、本年7月から10月までの期間に、小学校9校の児童808名に対して清掃の実地指導を行いました。

指導には、会員23社と協会OB講師2名のご参加をいただき、延べ12名が小学校の事前調査を、延べ62名が実地指導を、それぞれ行いました。

この事業が円滑に実施できたのは、茨城県教育庁義務教育課並びに対象校の校長先生や教職員の皆様方のご協力と、会員並びに社員、協会講師のご尽力によるものでございます。改めて、関係各位に心から感謝申し上げます。

来年度も、社会貢献事業の一つとして、本事業を継続する予定でありますので、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



今年も各小学校の児童の皆さんから、
たくさんのお礼をいただきました

平成26年度 小学生清掃活動トレーニング事業実施結果

班	実施会員	実 施 者	実施日時	学校名
1	(株)アメニティ・ジャパン	桜澤 勝利	9月25日(木) 14:45~15:30	常陸大宮市立 山方小学校 26人 5学年
	協会	○塩谷 文則(講師)		
	(株)暁恒産	亘理 正英 菊池 里子		
2	(株)エム・ビー・シー	○藤原 明(講師)	6月19日(木) 13:10~13:55	常陸太田市立 山田小学校 62人 全学年
	茨城ビル代行(株)	鹿嶋 史子		
	J R水戸鉄道サービス(株)	草野 隆		
3	東京美装興業(株) 茨城支店	金親 順三	7月15日(火) 10:40~11:25	ひたちなか市立 市毛小学校 124人 6学年
	関東ビルサービス(株)	山村 憲司		
	協会	○塩谷 文則(講師)		
	茨城ビル代行(株)	鹿嶋 史子		
	(株)アメニティ・ジャパン	桜澤 勝利		
	テルウェル東日本(株) 茨城支店	高橋 陸久 中川 真実 萩谷 恵子		
4	国際ビルサービス(株) 茨城支店	○大曾根 弘之(講師)	9月11日(木) 13:15~14:00	潮来市立 牛堀小学校 46人 3学年
	総合建物サービス(株)	高橋 庄吾		
	タカラビルメン(株)	石井 節子 岩佐 順子		
5	高橋興業(株)	金井 昭彦 齋藤 重希	10月16日(木) 10:35~11:20	牛久市立 中根小学校 141人 5学年
	国際ビルサービス(株) 茨城支店	○大曾根 弘之(講師) 赤澤 弥		
	(株)裕生 つくば営業所	浅野 祐一		
	協会	塩谷 文則(講師)		
	日本不動産管理(株) 茨城支社	渡辺 綸 花島 順子		
	タカラビルメン(株)	石井 節子 会田 恵子 黒田 由佳		
6	関東ビルサービス(株)	山村 憲司	9月17日(水) 10:35~11:20	つくば市立 谷田部小学校 163人 5学年
	(株)エム・ビー・シー	○藤原 明(講師)		
	協会	塩谷 文則(講師)		
	テスコ(株)つくば支店	酒寄 喜美枝		
	高橋興業(株)	金井 昭彦 齋藤 重希		
	日本不動産管理(株) 茨城支社	渡辺 綸 近藤 幸枝		
	J R水戸鉄道サービス(株)	田口 晃		
7	総合建物サービス(株)	○高橋 庄吾 ○溝口 浩司	10月1日(水) 13:55~14:40	取手市立 稲小学校 81人 5・6学年
	(株)全日茨城	小野 誠		
	タカラビルメン(株)	岩佐 順子 平山 奈津子 石井 節子		
	日本設備管理(株) 取手支店	吉田 光博 新井 キミイ		
8	常総ビル整美(株)	○池田 弘(理事)	10月9日(木) 9:35~10:20	下妻市立 大宝小学校 65人 5・6学年
	協会	○篠崎 嘉勝(講師)		
	(株)塚越産業	藤平 清史 植木 泰広		
	(株)ヤマニ商会	島田 剛史		
	(株)ニッセイ結城	須藤 富夫		
9	常総ビル整美(株)	○池田 弘(理事) 藤田 かつ子 小林 秀男	7月10日(木) 13:10~13:55	結城市立 城南小学校 100人程度 6学年
	(株)塚越産業	藤平 清史 植木 泰広		
	協会	○篠崎 嘉勝(講師)		
	(株)イーエス商会	鶴見 ひさ子		
	(株)ヤマニ商会	島田 剛史		
	(株)ニッセイ結城	須藤 富夫		

○印 事前調査の実施者

(順不同)

参加会員 22社(実数)
協力講師(OB) 2名(実数)

事前調査実施者数:延べ12名
指導実施者数:延べ62名

対象:9学校
参加児童数:808名

平成26年度

ビルクリーニング技能検定受検準備講習会

開 催

■ 建物衛生委員会

今年度の「ビルクリーニング技能検定受検準備講習会」を、下記の2回にわたり開催しました。

第1回：10月28日（火）・29日（水）の2日間 受講者 5名

第2回：11月12日（水）・13日（木）の2日間 受講者 10名

会場はいずれも「茨城県職業人材育成センター」（水戸市水府町864-4）

各回とも、受講者は、「床表面洗浄作業」、「ガラス面洗浄作業」及び「カーペットの汚れ取り作業」の実技3科目について、まず、定められている作業の方法や手順等を受検対策用DVDの画像により学習しました。その後、グループに分かれて、各科目ごとに、各担当の協会講師指導の下、2日間、熱心に練習を行いました。

受講者の皆様方におかれましては、本当にお疲れ様でした。

今年度は、会場確保の関係で、例年に比べ講習会の開催日が早くなったため、その分、試験日までの日数が長くなりました。

受講者には、更に練習を積み、講習会で指摘を受けた課題を克服されて、全員が合格されますことを、建物衛生委員会の委員（講師）一同、心からお祈りいたします。



平成26年度

シニアワークプログラム事業

クリーンスタッフ技能講習会の実施

■ 建物衛生委員会

建物衛生委員会では、本年度も、（公社）シルバー人材センター連合会様から委託を受け、下記のとおり「シニアワークプログラム事業 クリーンスタッフ技能講習会」を実施し、無事終了いたしました。

この事業は、55歳以上の方々の就職支援を目的としており、述べ7日間の講習で、受講者に「即戦力」となり得る水準の技能を修得していただく必要があります。

そのため、経験豊かな協会講師が、毎回全力で指導に当たっております。

拠点	期間	受講者数	合同面接会 出席会員数
ひたちなか地区	6月23日（月）～7月1日（火）の間 7日間	16名（男性9名／女性7名）	2社
石岡地区	8月26日（火）～9月4日（木）の間 7日間	19名（男性15名／女性4名）	3社
水戸地区	10月20日（月）～10月28日（火）の間 7日間	17名（男性14名／女性3名）	3社

閉講式の後には開催される「合同面接会」にご参加の会員各社の皆様方に、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

また、指導にあたった協会講師には、本当にお疲れ様でした。

平成26年度会員相互のコミュニケーション促進事業



当協会は、11月6日（木）～7日（金）の日程で、筑波山ホテル青木屋を会場として、「会員相互のコミュニケーション促進事業」を実施しました。

この事業は、従来からの視察研修旅行

に代えて新規に企画したもので、多数の参加を前提とし、ビルメンテナンス業界のコミュニケーションの輪を、より広げようとするものです。

今回、会員のご協力により、47名ものご参加をいただくことができました。

参加者は、業界共通の課題である「接遇マナーの基本」を学んだ後、夕食を共にしながら活発に意見の交換を行うことで、会社の垣根を越えてコミュニケーションを促進することができ、大盛況のうちに終了することができました。



◇事業の概要

(第一日目)

研修会

演 題：接遇マナーの基本

講 師：(株)エミー 代表取締役
渡辺 満枝 先生

(内容)

- ・身につけさせたい三つの要素
(専門的な知識・技術)
- ・第一印象
(好印象を与えるポイント)
- ・立居振舞
(姿勢、立ち方、座り方)

- ・話し方
- ・言葉遣い
- ・電話対応
- ・来客対応
- ・クレーム対応
- ・高業績を達成するために
社会人としての心構え・仕事
の基本

意見交換会

(第二日目)

朝食

解散



平成26年度会員相互のコミュニケーション促進事業に参加して

新生ビルテクノ(株) 館 由紀夫

今年度から従来の会員親睦研修旅行に代えて、11月6日・7日の2日間〔筑波山ホテル青木屋〕で開催された、会員相互のコミュニケーション促進事業に参加させて頂きました。

第1日目は、研修・親睦会、第2日目は、朝食後自由解散という日程で始まりました。

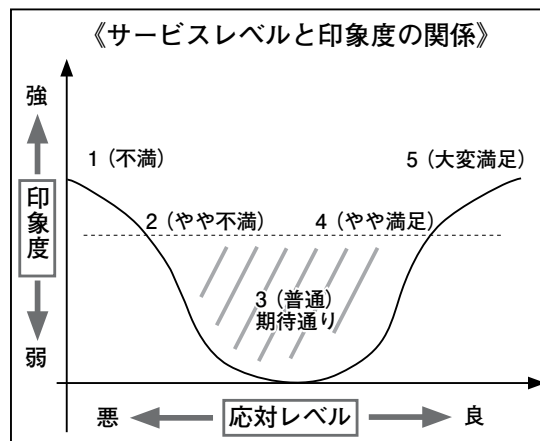
研修テーマ：「接遇マナーの基本」という事で私は、今まで受けたことのない研修でしたのでとても興味がありました。

まずは、第一印象の好印象を与えるポイントで顔の表情・視線の合わせかたなどの話を聞きました。話を聞いていて私はきちんと出来ているだろうか？と考えてみましたが恐らく緊張で明るい表情になっていないのではないかと思いますので、これから気を付けようと思いました。

立居振舞では参加者全員で立って、立ち方・お辞儀の仕方を実践しました。普段は何気なく行っている動作ですが気を付けないといけない点がある事を改めて感じました。また、物の受け渡し(名刺交換)もふたつの動作は一緒に行わない(お辞儀の動作と渡す動作)など、今後、気を付けていかなければならないと思いました。その他、言葉遣い・電話対応・来客対応などの話を聞きました。研修の時間が2時間20分でしたが、とても時間が過ぎるのが早く感じました。

研修を終えて、受講した感想は、サービスレベルと印象度の関係からみると印象度は大満足、対応レベルは良と思いました。また、時間のある時にも

う一度テキストをじっくり読んでみようと思います。



今回の研修で学んだ事を会社へ帰って伝えられれば良い効果が得られるのではないかと思います。来年度も接遇マナーの研修があれば是非とも参加したいです。

親睦会は、橋本理事の司会進行で開宴し、大山会長のあいさつ、来栖副会長の乾杯の発声に続き参加者皆様の乾杯発声後に、美味しい食べ物、お酒も進み盛大に行われました。このような機会がなければ各会員企業の皆様とも知り合う事が中々出来ませんし、ゆっくりお話して情報交換などを出来ないのではとても有意義な時間を過ごせたと思います。

第2日目は、朝食後自由解散でした。近場で開催された事もあり、仕事にも支障なくとても良かったと思います。

今回マナー研修の講師を務めて頂いた、渡辺満枝先生【㈱エミー 代表取締役】、協会関係者の皆様、有難うございました。

第43回関東甲信越地区例会 栃木例会

第43回関東甲信越地区例会が、今年度は栃木県協会が担当し、「ホテルエピナール那須」で開催されました。

本県協会からは、大山会長以下、総勢19名が参加しました。

第一日目は、全国協会報告、各県協会報告、講演会、懇親会などを通じ、国による入札・契約制度の見直し、各県協会のPR活動、サービスのあり方など、大変貴重な情報に接す

ることができました。また、関東甲信越地区の仲間と直接言葉を交わすことで、問題意識を共有することもできました。

第二日目は、那須の美しい景観と文化などを楽しむ観光と、格式ある「那須ゴルフ倶楽部」でのゴルフコンペとに分かれ、それぞれ那須の素晴らしさを堪能しながら、親睦を一層深めることができました。

◇例会の概要

1 期日：平成26年10月16日(木)～17日(金)

2 会場：ホテルエピナール那須

3 主催：公益社団法人全国ビルメンテナンス協会関東甲信越地区本部

4 担当：公益社団法人栃木県ビルメンテナンス協会

(第一日目)

- ・出席者総数 149名
- ・ご来賓 栃木県知事(代理)、栃木労働局長、那須町長
- ・全国協会報告 全国協会専務理事 堀口 弘
- ・各県協会報告 本県協会 (副会長 宮内 隆夫)

・講演会 「共生の街づくりと教育」

宇都宮共和大学学長 須賀 英之

・次期開催県協会長あいさつ

群馬県協会 会長 村田 茂行

・懇親会

(第二日目)

・観光(参加：本県9名)

那須神社・殺生石→藤城美術館→

南ヶ丘牧場→お菓子の城

・ゴルフ(参加：本県6名)

会場：那須ゴルフ倶楽部

注) 詳細は、「第43回関東甲信越地区例会 栃木例会ゴルフコンペに参加して」広報委員会委員 佐藤 秀夫氏《JR水戸鉄道サービス(株)》をご覧ください



第43回関東甲信越地区例会・栃木例会ゴルフコンペに参加して

JR水戸鉄道サービス(株) 佐藤 秀夫

いつもより豪勢なバイキング朝食を堪能し「天候もヨシ！今日こそは100を切るぞ！」と心に秘め、名匠藤田欽哉・井上誠一設計の那須ゴルフ倶楽部でプレー出来る嬉しさの中でホテルを早めに出発しました。

ホテルから約30分で那須の山まで上がりゴルフ場に到着、出発時は18℃で暖かかった気温が、なんと11℃と寒く「エ〜…」とびっくり、ゴルフ場は急激な風と雨の繰り返しの中、途中で青空が見え隠れする状況でした。天気が良ければ下界には、広々とした那須野が原と遙かに筑波峰の山々がかすかに見え「すばらしい絶景！」となるはずでしたが非常に残念！「なんとか風だけでも止んでほしい」と願いながら着替えを急ぎました。パターの練習中に茶臼岳方向に大きな虹がかかり、私たちを歓迎するかのようによててくれました。早速、写真撮影を致しました。



素敵な虹の歓迎

那須ゴルフ倶楽部は昭和11年に創設され、那須岳、茶臼岳の大地のレイアウトでアップ、ダウンが多く、それぞれにセパレートされた各ホール、ヤード、アウト3340、イン3275のベント1グリーンで長年のプレーヤーやメンテの努力で時代が守られている「格式ある

名門コース」です。

ゴルフプレーはインのロングからのスタートで茶臼岳方への打ち上げるコースが続き、ドライバーは性格からスイングが早く、ボールは右・左と低空を走る大苦戦！「名門コースでパーが取れば良いかぁー」と心を変えて見るも、高く見えるグリーンが早くパー外しのボギー・ダボ・トリの連続、「人生と同じダー」と、しみじみ厳しさを感じ取った次第です。終わって見れば107回のスコアでした。

表彰式は、新ペリア方式で神奈川県協会副会長の倉田氏がnet70.6で優勝、栃木県協会の薄井氏net70.8で準優勝、3位は同協会員の松本氏が受賞しました。なお、茨城県勢は期待の強豪大山会長他5名が参加しましたが、それぞれ振るわず次回群馬大会まで優勝を預けることにしました。

最後になりますが、今回のゴルフコンペを通して名門コースでプレー出来たこと、パートナーとの情報交換等で知り合いになり、大変貴重な時間を得ることが出来ました。本企画を担当された栃木県ビルメンテナンス協会のみなさまに心より感謝の気持ちとお礼を申し上げます。



開会式風景

理事会だより



第3回常任理事会

日 時 8月27日(水) 13:30～16:00
場 所 協会 会議室
出席者 大山会長、来栖・宮内副会長、鷹巣・池田・田口・橋本各常任理事
砂押専務理事
議 題 (1) 会員相互のコミュニケーション促進事業について
(2) その他
① 第43回関東甲信越地区例会(栃木例会)への参加状況について
② 「ビルメンヒューマンフェア in

北海道(仮称)」への対応について

③ その他

第4回常任理事会

日 時 10月20日(月) 10:30～12:00
場 所 協会 会議室
出席者 大山会長、来栖・宮内副会長、鷹巣・池田・田口・矢口各常任理事
那花・秋山労働安全衛生副委員長、砂押専務理事
議 題 (1) 労働安全衛生大会の開催要項について(最終確認)
(2) その他

各委員会だより



労働安全衛生委員会

◇ 第1回委員会

日 時 8月19日(火) 14:00～16:00
場 所 協会 会議室
出席者 来栖副会長、池田委員長、田口理事、那花・秋山副委員長、増田・北村・宮本各委員、砂押専務理事

議 題 (1) 委嘱状の交付について
(2) 平成26年度主要事業について
① 労働安全衛生標語募集の経過報告について
② 労働安全衛生大会の開催について
(3) 労働災害発生報告システムについて
(4) その他

平成27年 新春賀詞交歓会

開催のお知らせ

期 日 平成27年1月22日(木)
時 間 午前11時開会(受付は午前10時より)
会 場 水戸プラザホテル 2F「ボールルーム」
水戸市千波町2078-1
TEL 029-305-8111
会 費 1名様 10,000円

☆ 会員の皆様のご参加をお待ちしております。☆



◇ 標語選考会

日 時 8月27日(水) 14:00～17:00

場 所 協会 会議室

出席者 大山会長、来栖・宮内副会長、鷹巣・田口・橋本各常任理事、池田委員長、那花・秋山副委員長、砂押専務理事

議 題 (1) 労働安全衛生標語優秀作品(金賞・銀賞・銅賞・佳作)の選考について
(2) その他

◇ 第2回委員会

日 時 9月18日(金) 15:00～16:30

場 所 協会 会議室

出席者 池田委員長、那花・秋山副委員長、北村・宮本各委員、砂押専務理事

議 題 (1) 労働安全衛生大会開催要項について
(2) その他

建物衛生委員会

◇ 第2回委員会

日 時 10月8日(水) 15:00～16:30

場 所 協会 会議室

出席者 矢口委員長、大曾根・藤原副委員長、篠崎・金親・中川・藪田各委員
砂押専務理事

議 題 (1) 平成26年度ビルクリーニング技能検
定受検準備講習会の開催について
(2) シニアワークプログラム事業(水戸
地区分)について
(3) その他

広報委員会

◇ 第2回委員会

日 時 11月11日(火) 15:00～17:00

場 所 協会 会議室

出席者 宮内副会長、田口委員長、古市副委員長、佐藤・助川各委員、砂押専務理事

議 題 (1) 茨協ニュース(第90号)の発行につ
いて
(2) その他

◇ 編集会議

日 時 11月26日(水) 15:00～17:00

場 所 協会 会議室

出席者 宮内副会長、田口委員長、古市副委員長、館・佐藤・助川各委員

議 題 (1) 茨協ニュース(第90号)の編集作業
について
(2) その他

茨城労働局からのお知らせ

茨城県最低賃金が「時間額729円」に改定

茨城県労働局では、茨城県最低賃金を
時間額729円(昨年度額より16円引上げ)に改正決定しました。
平成26年10月4日(日)から、茨城県内の全産業・全労働者に適用さ
れます。

賃金額が「茨城県最低賃金」を下回る雇用契約は、労使双方の合意であっても、最低賃金法により、賃金額については無効とされ、最低賃金額と同額の契約をしたものとみなされます。

最低賃金についての詳細は、

茨城労働局 労働基準部 賃金室(電話 029-224-6216)

または、最寄りの労働基準監督署にお尋ね下さい。

会 員 紹 介

Ibaraki Building Maintenance Association

タカラビルメン株式会社

タカラビルメンは35年間培ってきた「タカライズム」をベースに、建物の維持管理と不動産ソリューション技術を融合させ、オーナー様の建物がその価値を最高に発揮するお手伝いをさせていただいております。

“省エネ・省コスト”“防犯・防災”などの商品ラインナップをそろえ、関東一都六県で元気いっぱい活動中です！

またこの度、スマートデバイスを活用した先進的な業務改善の取り組みとして「SmartGEMBA 巡回点検クラウド」を導入、作業完了レポート作成において、月間100時間相当の削減に成功しました。（月刊ビルメンテナンス2015新春号に掲載されますので、ぜひご一読ください）

会員みなさま、引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

龍ヶ崎にお越しの際は、
ぜひお立ち寄りください。



株式会社 ダイケングループ

弊社は、昭和33年に起業し、総合建物管理会社として「人との出会い」を基本とした「人材教育」「人材開発」に努め事業発展を行ってまいりました。現在では、日本全国にて多種多様な建物の管理手法を集積し、弊社グループの13,000名を超える従業員、バックアップ体制等を最大限に活用し、安全で快適な利用環境の創造の達成に邁進しています。



中央管財株式会社

当社は昭和33年11月に東京都中央区京橋に官公庁の清掃業務を請け負う為に設立。その後、(旧)日本住宅公団本社の清掃・設備・警備・電話交換・受付・エレベーターガールの仕事を皮切りに本格的にビルメンテナンス業を始めました。

現茨城・千葉営業所はつくばエキスポ'85の「アメリカ館」の清掃を担当し、アメリカ大使館より表彰を受けました。

現在では、官公庁の他、民間企業やショッピングモール等の清掃・設備管理等も行っており、お客様のニーズに沿った清掃・設備業務を主に行っています。

顧客第一主義をモットーにこれからも精進してまいりますので宜しくお願い致します。

尚、東京、神奈川、埼玉、茨城、千葉を拠点とし関東全域を活動範囲としております。



株式会社 塚越産業

弊社は、昭和37年9月に創業し、昭和48年8月にビルメンテナンス業の業務を開始しました。現在は総合ビルメンテナンス業として建物内の快適環境の創造・維持を通してお客様の業務効率が上がる様、側面的にサポートすることにより、お客様のベストパートナーを目指して各業務をおこなっております。

茨城県ビルメンテナンス協会の役員・事務局の方及び各会員には平素よりご高配を頂いております。

今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう厚く心よりお願い申し上げます。



次号の会員紹介は、テスコ(株)、テルウェル東日本(株)、(株)トーカンオリエンス、東京美化(株)、東京ビジネスサービス(株)の5社にお願いする予定です。ご協力よろしくお願いします。



■ 編 ■ 集 ■ 後 ■ 記 ■

昭和40年代、それは自分が小学生だった時代、たいていの子供達は夢を持っていました。

ある少年は野球選手、ある少女は看護婦さんを夢見たり、そんな中で、自分はというと、人とは違い探検家になるのが夢でした。幼い頃は病弱だったせいか、探検家の川口浩さんに憧れを抱いたことによるものです。

そんな探検家の夢も、高校生になった頃には消え去り、代わって、音楽家やデザイナーなど、クリエイティブな仕事に憧れを持つようになりました。そのためか、両親が立ち上げた清掃業の会社に、強い反感を持つようになりました。

その反抗心は30歳になるまで続きましたが、丁度その時期に父親が体調を崩したため、仕方なく父親の会社の後を継ぐことになりました。

次世代を託された方々も、以前の自分のように反抗し、まわり道を歩んだ方も少なくないような気がします。

昨年夏、20年ぶりに西麻布の繁華街を訪れましたが、交差点にさしかかった時、何かに引き寄せられるように、昔、学生時代によく通ったお店（今でいうClub。ミュージックバー。）を目指しました。



西麻布交差点

店内は昔と殆ど変わらず、オーナーもそのままでした。変わったのは、学生時代いつも超満員だったお店のお客が少なかったことくらい、これも時代の変化なのでしょう。でも、嬉しかった。この界限で36年間も継続しているのはこの店だけ。まだ20歳で、人生に大きな夢を抱きながらこの店に通っていた時代、そんな珠玉のような時代を強烈に思い出しました。

恐る恐る歩いていくと、あった！看板がありました。取りあえず地下への階段を下りてお店を覗いてみると、

あれだけ賑わっていたお店も西麻布の交差点も、今では、すっかり活気が消え失せています。家賃も上がり、閉店の危機が迫っている中で、20年、30年以上も通う常連客のために、身を削り、命を削りながら頑張っているオーナーの姿に、私は心から感動をしました。

そのオーナーから、伊勢神宮の参拝の帰りに命の言葉をいただきました。

「自然に服従し 境遇に従順であれ」

—森田正馬（もりた まさたけ）

1874～1938年

まず「あるがまま」を受け入れ、自然や運命に素直に身を委ねなさい。

そのうえで努力を重ねてこそ、初めて自身の持つ力が豊かに発揮され、運命を切り開くことができる。

オーナーは、店は自分の「命」だと言います。創業者というのはそういうものだと、つくづく感じました。

「夢」を越え、「生きるとは何か」、「人生とは何か」を強く感じさせられた言葉でした。

（株）ともゑ 田口 順章

今号の編集者

◎委員長

田口 順章（株）ともゑ

◎編集委員

古市 茂樹（茨城ビル代行（株））

舘 由紀夫（新生ビルテクノ（株））

佐藤 秀夫（J R 水戸鉄道サービス（株））

助川 和徳（日興美装工業（株））

◎副会長

宮内 隆夫（関東ビルサービス（株））

発行所

茨城県水戸市千波町1918

一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会

☎029-305-5111 FAX 029-305-5112

E-mail: ibmal@ceres.ocn.ne.jp

http://www.ibaraki-bma.or.jp/

責任者

会長 大山 進

編集責任者

広報委員長 田口 順章

発行回数

年3回

印刷所

（有）クリエイティブサンエイ